

キヤノンマーケティングジャパングループ 2019年度 決算説明

2020年1月29日

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

取締役専務執行役員 松阪 喜幸

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

-
- 本資料では、億円単位未満の端数は四捨五入により表示しております。
 - 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

売上高 **1,581億円** (**前年比△156億円 / △9%**)

- ✓ エリアは増収となったものの、コンシューマ、エンタープライズ、プロフェッショナルが減収となり、売上は減少

営業利益 **86億円** (**前年比△45億円 / △34%**)

- ✓ 売上の減少に伴う荒利の減少、及び販管費の増加により、減益

**親会社株主に帰属する
四半期純利益** **57億円** (**前年比△35億円 / △38%**)

業績サマリー 第4四半期(10~12月)実績

■ 業績サマリー

(単位：億円)

	2018年 4Q	2019年 4Q	前年同期比較	
			金額	率
売上高	1,737	1,581	△156	△9%
	(35.2%)	(32.9%)	(△2.3%)	
売上総利益	611	520	△92	△15%
	(7.5%)	(5.4%)	(△2.1%)	
営業利益	130	86	△45	△34%
	(7.6%)	(5.7%)	(△1.9%)	
経常利益	132	90	△42	△32%
	(5.3%)	(3.6%)	(△1.7%)	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	93	57	△35	△38%

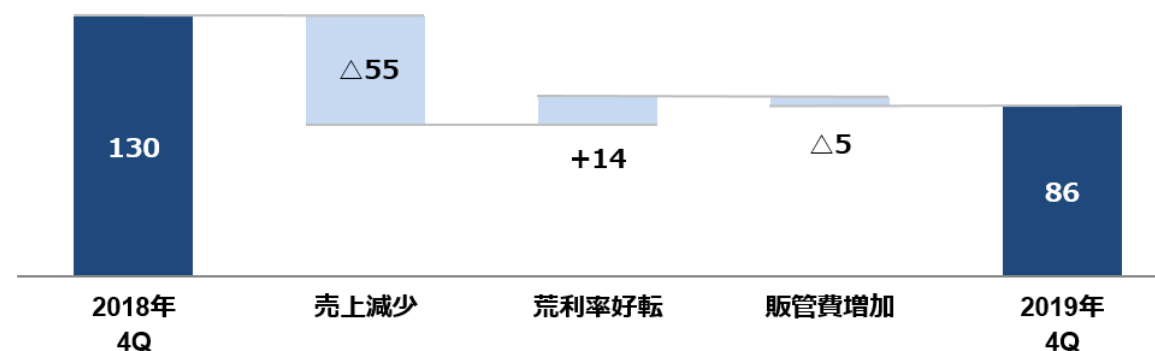
業績サマリー 第4四半期(10~12月)実績 組替前実績比較

■ 業績サマリー

(単位：億円)

	2018年 4Q	2019年 4Q	サービス 組替影響	2019年 4Q (組替前)	組替前比較	
					金額	率
売上高	1,737	1,581	-	1,581	△156	△9%
売上総利益	(35.2%) 611	(32.9%) 520	52	(36.1%) 571	(+0.9%) △40	△7%
営業利益	(7.5%) 130	(5.4%) 86	-	(5.4%) 86	(△2.1%) △45	△34%
経常利益	(7.6%) 132	(5.7%) 90	-	(5.7%) 90	(△1.9%) △42	△32%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(5.3%) 93	(3.6%) 57	-	(3.6%) 57	(△1.7%) △35	△38%

■ 営業利益分析



セグメント概要 第4四半期(10~12月)実績

(単位：億円)

	2018年 4Q		2019年 4Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	539	70	409	43	△130	△27
エンタープライズ	489	27	462	18	△26	△9
エリア	656	36	661	27	+5	△8
プロフェッショナル	106	0	98	△1	△8	△1
その他	△53	△2	△50	△2	+3	+0
合 計	1,737	130	1,581	86	△156	△45

※1.「その他」には、報告セグメントに含まれないコールセンター及びBPOサービス事業やセグメント間取引消去が含まれております。

※2.2019年より、「プロフェッショナル」セグメントのサブセグメントであった「映像ソリューション」を「エンタープライズ」と「エリア」セグメントに移管しました。

また、グループ内に分散していたセキュリティビジネスの企画・開発機能をキヤノンMJ単体のマーケティング統括部門に集約した結果、セグメント間取引の金額が変更になっております。なお、前期のセグメントは当期の区分方法に組替えを行っております。

業績サマリー 上期（1Q-2Q）・下期（3Q-4Q）

組替前実績比較



■ 業績サマリー

(単位：億円)

	2018年		2019年（組替前）		組替前比較			
	1Q-2Q	3Q-4Q	1Q-2Q	3Q-4Q	1Q-2Q		3Q-4Q	
					金額	率	金額	率
売上高	3,005	3,211	3,029	3,183	+23	+1%	△28	△1%
	(34.9%)	(35.3%)	(35.3%)	(35.9%)	(+0.3%)		(+0.7%)	
売上総利益	1,050	1,132	1,068	1,143	+18	+2%	+11	+1%
	(3.2%)	(6.0%)	(4.4%)	(6.0%)	(+1.2%)		(△0.0%)	
営業利益	97	193	134	190	+38	+39%	△3	△1%
	(3.7%)	(6.1%)	(4.7%)	(6.2%)	(+1.1%)		(+0.1%)	
経常利益	110	195	143	196	+34	+30%	+1	+0%
	(2.5%)	(4.2%)	(3.1%)	(4.0%)	(+0.6%)		(△0.1%)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	74	134	94	128	+20	+27%	△6	△4%

セグメント概要 上期 (1Q-2Q) ・下期 (3Q-4Q)

(単位：億円)

	2018年				2019年				増減			
	1Q-2Q		3Q-4Q		1Q-2Q		3Q-4Q		1Q-2Q		3Q-4Q	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	610	△11	892	84	577	△3	751	71	△34	+8	△141	△13
エンタープライズ	934	43	948	44	987	55	971	46	+53	+12	+24	+1
エリア	1,302	55	1,274	66	1,328	70	1,355	74	+26	+15	+81	+9
プロフェッショナル	262	8	203	1	232	13	205	4	△30	+5	+2	+3
その他	△103	2	△105	△2	△96	△1	△99	△5	+7	△2	+6	△2
合 計	3,005	97	3,211	193	3,029	134	3,183	190	+23	+38	△28	△3

業績サマリー 年間累計(1~12月)実績

■ 業績サマリー

(単位：億円)

	2018年 年間	2019年 年間	前年同期比較	
			金額	率
売上高	6,216	6,211	△5	△0%
	(35.1%)	(32.4%)	(△2.7%)	
売上総利益	2,182	2,010	△171	△8%
	(4.7%)	(5.2%)	(+0.6%)	
営業利益	289	324	+35	+12%
	(4.9%)	(5.5%)	(+0.6%)	
経常利益	305	339	+34	+11%
	(3.4%)	(3.6%)	(+0.2%)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	208	223	+14	+7%

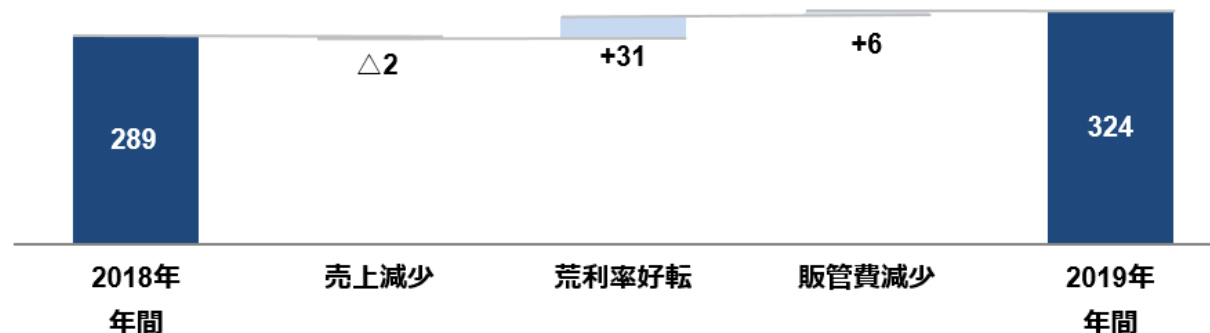
業績サマリー 年間累計(1~12月)実績 組替前実績比較

■ 業績サマリー

(単位：億円)

	2018年 年間	2019年 年間	サービス 組替影響	2019年 年間 (組替前)	組替前比較	
					金額	率
売上高	6,216	6,211	-	6,211	△5	△0%
	(35.1%)	(32.4%)		(35.6%)	(+0.5%)	
売上総利益	2,182	2,010	201	2,211	+29	+1%
営業利益	289	324	-	324	+35	+12%
経常利益	305	339	-	339	+34	+11%
親会社株主に帰属する 当期純利益	208	223	-	223	+14	+7%

■ 営業利益分析



セグメント概要 年間累計 (1~12月)実績

(単位：億円)

	2018年 年間		2019年 年間		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	1,502	73	1,328	69	△175	△5
エンタープライズ	1,882	87	1,958	101	+77	+13
エリア	2,576	121	2,683	144	+107	+23
プロフェッショナル	464	9	437	16	△28	+8
その他	△208	△1	△195	△5	+13	△5
合 計	6,216	289	6,211	324	△5	+35

※1.「その他」には、報告セグメントに含まれないコールセンター及びBPOサービス事業やセグメント間取引消去が含まれております。

※2.2019年より、「プロフェッショナル」セグメントのサブセグメントであった「映像ソリューション」を「エンタープライズ」と「エリア」セグメントに移管しました。

また、グループ内に分散していたセキュリティビジネスの企画・開発機能をキヤノンMJ単体のマーケティング統括部門に集約した結果、セグメント間取引の金額が変更になっております。なお、前期のセグメントは当期の区分方法に組替えを行っております。

売上高 409億円 (前年比 Δ 130億円 / Δ 24%)

➢ デジタル一眼レフカメラ・インクジェットプリンター等が減少し、減収。

営業利益 43億円 (前年比 Δ 27億円 / Δ 38%)

➢ 消費税増税前の駆け込み需要の反動によりインクカートリッジが減少したこと等により、減益。

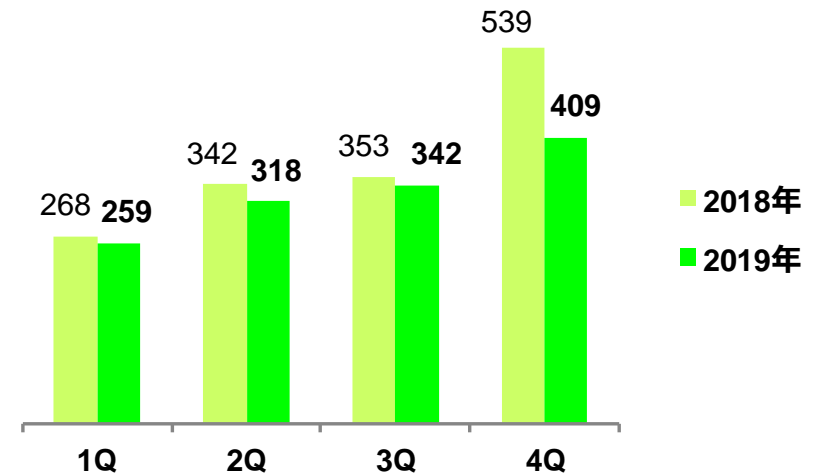
■ 対前年増減

	2018年 年間	2019年 年間	増減
売上高	1,502	1,328	Δ 175
営業利益	73	69	Δ 5

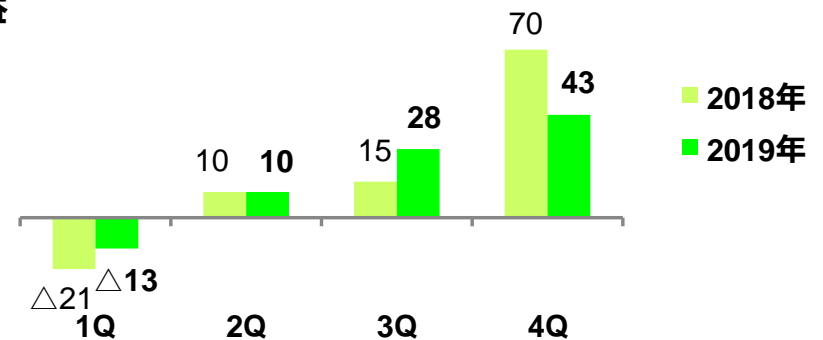
■ 売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年	Δ 3%	Δ 7%	Δ 3%	Δ 24%	Δ 12%

■ 売上高



■ 営業利益



売上高 462億円 (前年比 Δ 26億円 / Δ 5%)

- 製造業向けビジネスが順調だったものの、前年同期に金融業向けでビジネスPCやSIサービスの大型案件があった反動により、減収。

営業利益 18億円 (前年比 Δ 9億円 / Δ 33%)

- 売上減による荒利減等により、減益。

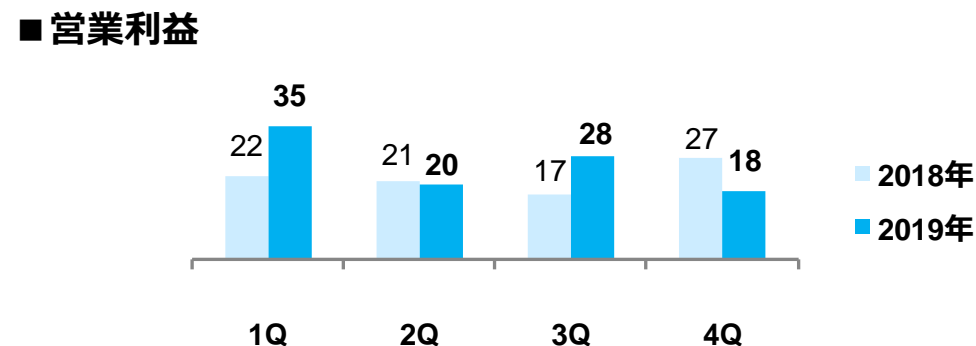
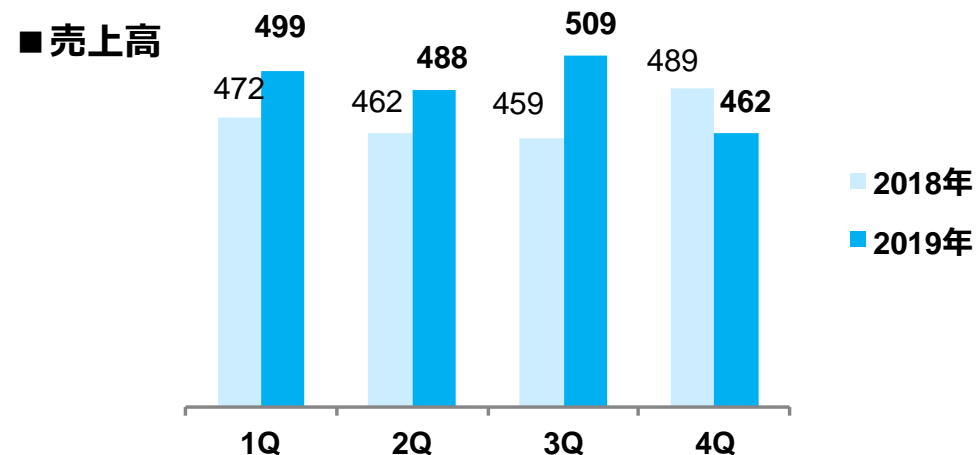
■ 対前年増減

	2018年 年間	2019年 年間	増減
売上高	1,882	1,958	+77
営業利益	87	101	+13

■ 売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年	+6%	+6%	+11%	Δ 5%	+4%

(単位：億円)



売上高 661億円 (前年比 +5億円 / +1%)

➤ ビジネスPCを中心としたITソリューションの増加により、増収。

営業利益 27億円 (前年比 △8億円 / △23%)

➤ 保守サービスやレーザープリンターカートリッジの減少に伴う荒利の減少等により、減益。

■ 対前年増減

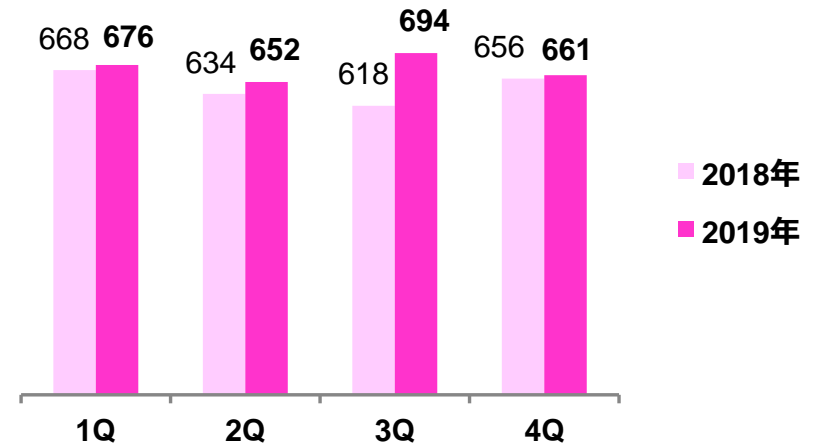
	2018年 年間	2019年 年間	増減
売上高	2,576	2,683	+107
営業利益	121	144	+23

■ 売上高 対前年同期増減

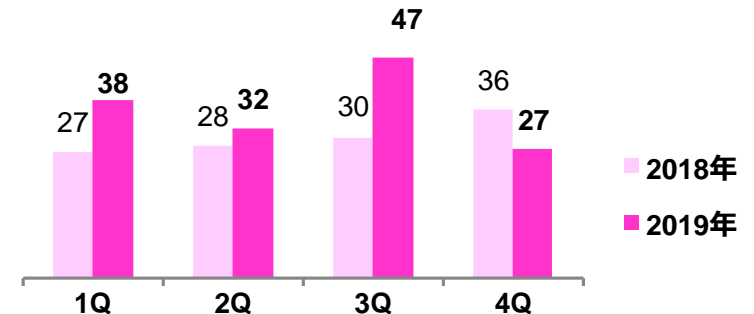
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年	+1%	+3%	+12%	+1%	+4%

(単位・億円)

■ 売上高



■ 営業利益



売上高 98億円 (前年比 Δ 8億円/ Δ 8%)

➤ 産業機器が好調だったものの、ヘルスケアとプロダクションプリンティングが低調に推移し、減収。

営業利益 Δ 1億円 (前年比 Δ 1億円/ $-$ %)

➤ 売上の減少に伴う荒利の減少により、減益。

(単位：億円)

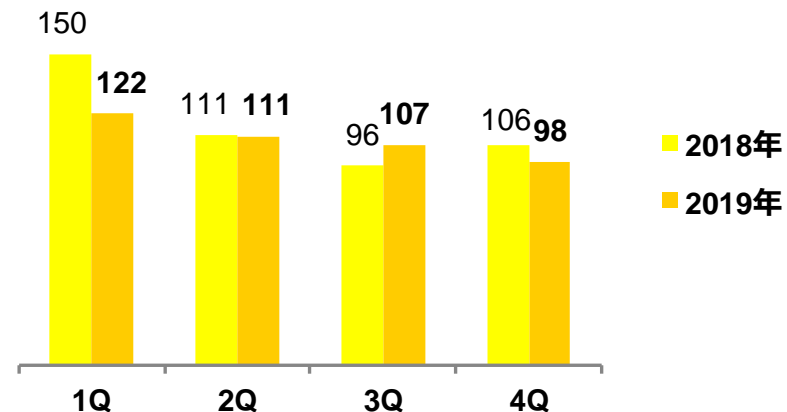
■ 対前年増減

	2018年 年間	2019年 年間	増減
売上高	464	437	Δ 28
営業利益	9	16	+8

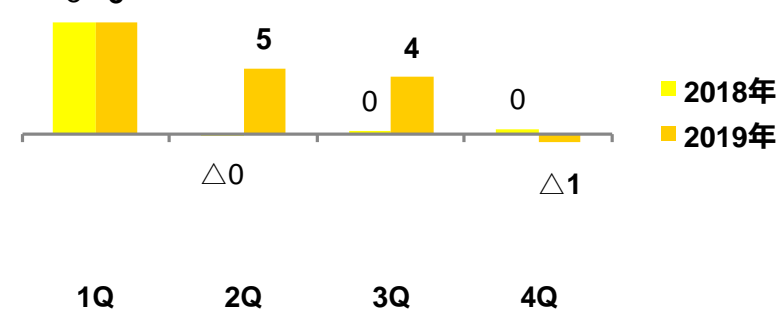
■ 売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年	Δ 19%	Δ 1%	+11%	Δ 8%	Δ 6%

■ 売上高



■ 営業利益



■ 売上高対前年増減

	2019年			
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績
プロダクションプリンティング	+1%	△22%	△4%	△18%
産業機器	△34%	△2%	△6%	+20%
ヘルスケア	△13%	+19%	+37%	△15%

■ プロダクションプリンティング

連帳プリンター・ワイドフォーマットプリンター等が低調に推移したことにより、減収。

■ 産業機器

半導体分野で拡販が進んだことと、保守サービスが好調に推移したことにより、増収。

■ ヘルスケア

消耗品の販売で、消費税増税前の駆け込み需要の反動減があったこと等により、減収。

グループITソリューション売上

(単位：億円)

	2018年 4Q	2019年 4Q	増減	
			金額	率
エンタープライズ	311	287	△24	△8%
エリア	145	178	+33	+23%
その他	65	59	△7	△10%
合計	521	524	+3	+0%

	2018年 年間	2019年 年間	増減	
			金額	率
エンタープライズ	1,190	1,249	+59	+5%
エリア	581	736	+155	+27%
その他	206	229	+23	+11%
合計	1,977	2,215	+237	+12%

【参考】全社ITセキュリティ売上高

	対前年 増減率	
	4Q	年間
全社ITセキュリティ	△4%	+2%

業績予想サマリー

(単位：億円)

	2020年 年間 (予想)	2019年 年間 (実績)	前年比較	
			金額	率
売上高	6,000	6,211	△211	△3%
営業利益	(5.7%) 340	(5.2%) 324	(+0.4%) +16	+5%
経常利益	(5.8%) 350	(5.5%) 339	(+0.4%) +11	+3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	(3.8%) 228	(3.6%) 223	(+0.2%) +5	+2%

業績予想 セグメント概要

(単位：億円)

	2019年 年間 (実績)		2020年 年間 (予想)		前年比較		
	売上	営業 利益	売上	営業 利益	売上 金額	率	営業 利益
コンシューマ	1,328	69	1,253	62	△75	△6%	△7
エンタープライズ	1,958	101	1,965	114	+7	+0%	+13
エリア	2,683	144	2,630	155	△53	△2%	+11
プロフェッショナル	437	16	346	23	△91	△21%	+7
その他	△195	△5	△194	△14	+1	-	△9
合計	6,211	324	6,000	340	△211	△3%	+16

※1.「その他」には、報告セグメントに含まれないコールセンター及びBPOサービス事業やセグメント間取引消去が含まれております。

參考資料

【参考】2018年セグメント移管組替後実績

(単位：億円)

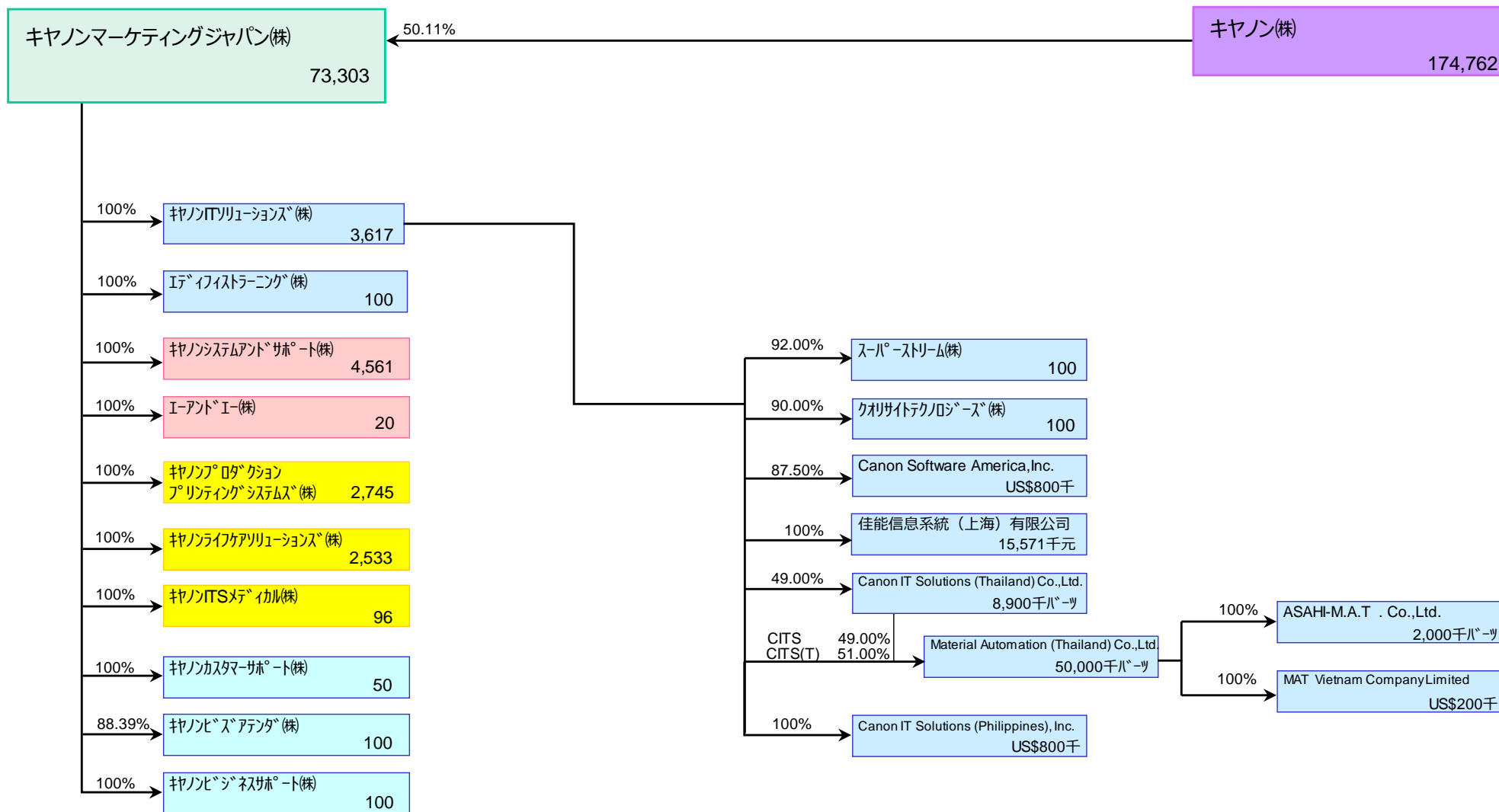
	2018年							
	1Q		2Q		3Q		4Q	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	268	△21	342	10	353	15	539	70
エンタープライズ	472	22	462	21	459	17	489	27
エリア	668	27	634	28	618	30	656	36
プロフェッショナル	150	8	111	△0	96	0	106	0
その他	△50	2	△53	0	△52	0	△53	△2
合 計	1,508	37	1,497	59	1,474	62	1,737	130

※1. 「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2. 2019年より、「プロフェッショナル」セグメントのサブセグメントであった「映像ソリューション」を「エンタープライズ」と「エリア」セグメントに移管しました。

また、グループ内に分散していたセキュリティビジネスの企画・開発機能をキヤノンMJ単体のマーケティング統括部門に集約した結果、セグメント間取引の金額が変更となっております。なお、前期のセグメントは当期の区分方法に組替えを行っております。

【参考】関係会社出資関係図



持株比率 → 会社名 資本金 (百万円)

関係会社
 子会社 (青い枠)
 関連会社 (点線枠)

2019.12.31 現在

【参考】主要関係会社実績 第4四半期(10~12月)実績

(単位：億円)

		2018年 4Q		2019年 4Q		増減	
						金額	率
エンタープライズ							
キヤノンITソリューションズ	売上高	227.1		216.2		△10.8	△5%
	営業利益	23.7	(10.4%)	17.2	(8.0%)	△6.4	(△2.4%)
エリア							
キヤノンシステムアンドサポート	売上高	292.8		301.8		+9.0	+3%
	営業利益	11.7	(4.0%)	10.3	(3.4%)	△1.4	(△0.6%)
プロフェッショナル							
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ	売上高	33.4		27.1		△6.3	△19%
	営業利益	0.6	(1.7%)	△0.4	(-)	△1.0	(-)
キヤノンライフケアソリューションズ	売上高	27.9		22.9		△5.0	△18%
	営業利益	1.1	(3.8%)	△0.8	(-)	△1.9	(-)

※ 主要関係会社の前年実績につきましては、セグメント区分の変更に伴い、各社の前年実績も組替え後の数値となっております。

【参考】主要関係会社実績 年間累計(1~12月)実績

(単位：億円)

		2018年 年間		2019年 年間		増減		率
						金額		
エンタープライズ								
キヤノンITソリューションズ	売上高	868.8		915.8		+47.1		+5%
	営業利益	73.6	(8.5%)	82.1	(9.0%)	+8.5	(+0.5%)	
エリア								
キヤノンシステムアンドサポート	売上高	1,177.9		1,253.1		+75.2		+6%
	営業利益	38.3	(3.3%)	51.0	(4.1%)	+12.7	(+0.8%)	
プロフェッショナル								
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ	売上高	123.1		107.7		△15.4		△13%
	営業利益	△2.9	(-)	1.5	(1.4%)	+4.4	(-)	
キヤノンライフケアソリューションズ	売上高	113.8		110.7		△3.0		△3%
	営業利益	2.3	(2.0%)	1.9	(1.7%)	△0.4	(△0.3%)	

※ 主要関係会社の前年実績につきましては、セグメント区分の変更に伴い、各社の前年実績も組替え後の数値となっております。

【参考】販管費の内訳

第4四半期(10~12月)実績



(単位：億円)

	2018年 4Q	2019年 4Q	サービス 組替影響	2019年 4Q (組替前)	組替前比較
広告宣伝費	26	24	-	24	Δ2
販売促進費	12	12	-	12	+0
保証費	12	10	1	10	Δ2
その他直接費	51	50	-	50	Δ1
人件費	306	255	48	303	Δ2
減価償却費	3	3	-	3	Δ1
その他販売費	71	80	2	83	+12
合計	481	434	52	486	+5

【参考】販管費の内訳

年間累計(1~12月)実績



(単位：億円)

	2018年 年間	2019年 年間	サービス 組替影響	2019年 年間 (組替前)	組替前比較
広告宣伝費	84	78	-	78	△6
販売促進費	44	37	-	37	△6
保証費	48	38	3	41	△7
その他直接費	195	190	-	190	△5
人件費	1,221	1,047	189	1,236	+15
減価償却費	13	9	-	9	△4
その他販売費	287	286	9	295	+8
合計	1,892	1,686	201	1,887	△6

【参考】営業外収支・特別損益の内訳

(単位：億円)

■ 営業外収益

	2018年		2019年		増減	
	4Q	年間	4Q	年間	4Q	年間
受取利息	0	2	1	2	+0	Δ0
受取配当金	0	2	0	2	+0	+0
受取保険金	0	5	3	8	+3	+2
投資事業組合運用益	0	5	0	2	+0	Δ2
その他	1	4	1	3	Δ0	Δ1
合計	2	18	5	17	+3	Δ1

■ 営業外費用

	2018年		2019年		増減	
	4Q	年間	4Q	年間	4Q	年間
支払利息	0	0	0	0	Δ0	+0
その他	0	2	0	2	Δ0	Δ1
合計	0	2	0	2	Δ0	Δ1

【参考】営業外収支・特別損益の内訳

(単位：億円)

■ 特別利益

	2018年		2019年		増減	
	4Q	年間	4Q	年間	4Q	年間
固定資産売却益	0	1	0	0	+0	Δ1
投資有価証券売却益	-	5	Δ0	0	Δ0	Δ5
関係会社株式売却益	-	2	-	-	-	Δ2
合計	0	8	0	0	+0	Δ8

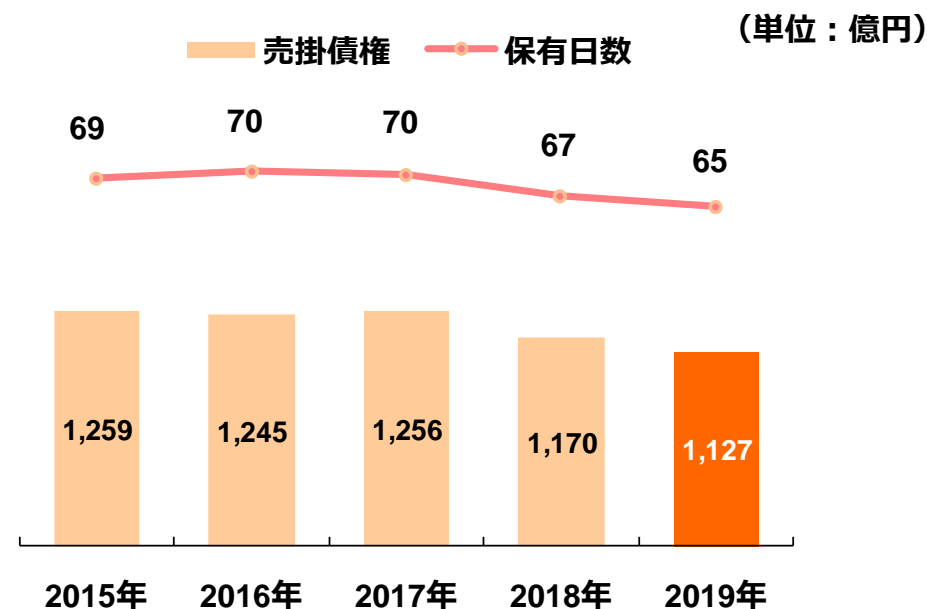
■ 特別損失

	2018年		2019年		増減	
	4Q	年間	4Q	年間	4Q	年間
固定資産除売却損	1	3	0	2	Δ0	Δ1
減損損失	-	0	-	1	-	+1
投資有価証券評価損	1	2	3	3	+3	+2
拠点再編費用	-	1	0	0	+0	Δ0
その他	0	1	0	0	Δ0	Δ1
合計	2	6	4	6	+2	+0

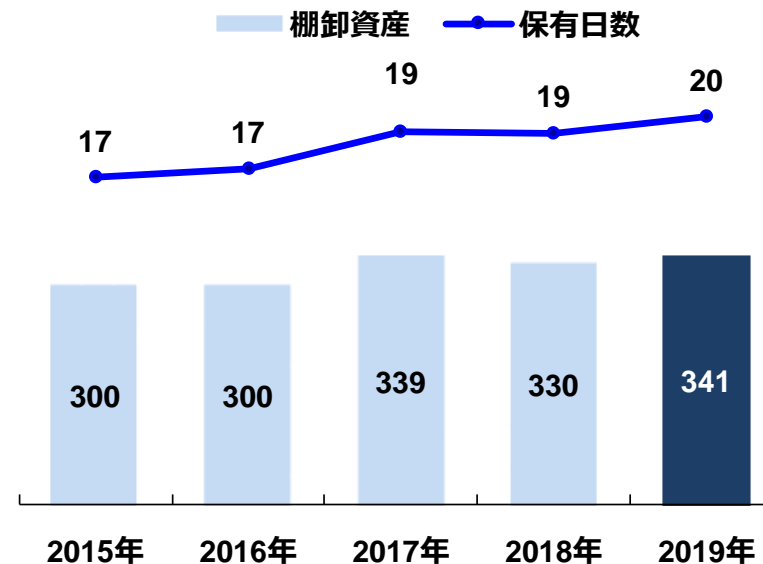
【参考】貸借対照表

	2018年 12月	2019年 12月	増減
資産	4,988	5,037	+49
流動資産	3,833	3,774	△59
金融資産	1,356	545	△811
売掛債権	1,170	1,127	△44
棚卸資産	330	341	+11
その他	977	1,761	+784
固定資産	1,154	1,263	+109
有形固定資産	720	828	+108
無形固定資産	53	45	△8
投資その他	382	390	+8
負債	1,952	1,786	△166
流動負債	1,299	1,200	△99
買掛債務	758	515	△243
その他	541	685	+144
固定負債	653	586	△67
純資産	3,036	3,251	+215
株主資本	3,142	3,270	+128
(自己株式)	△319	△319	△0
その他の包括利益累計額	△111	△25	+86
非支配株主持分	5	6	+1
株主資本比率	61%	64%	+4%

■売掛債権



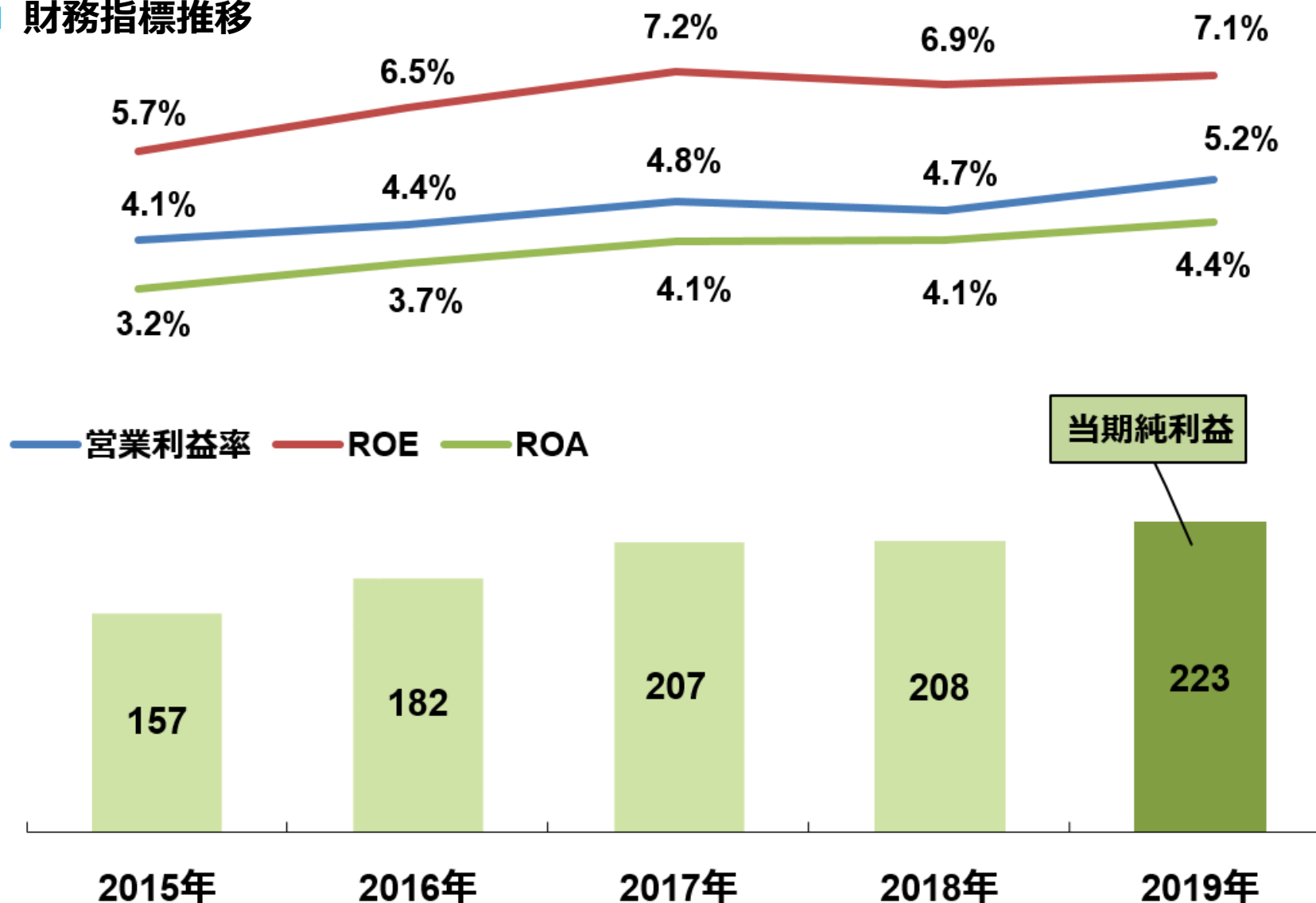
■棚卸資産



【参考】財務指標推移 営業利益率／ROA／ROE

(単位：億円)

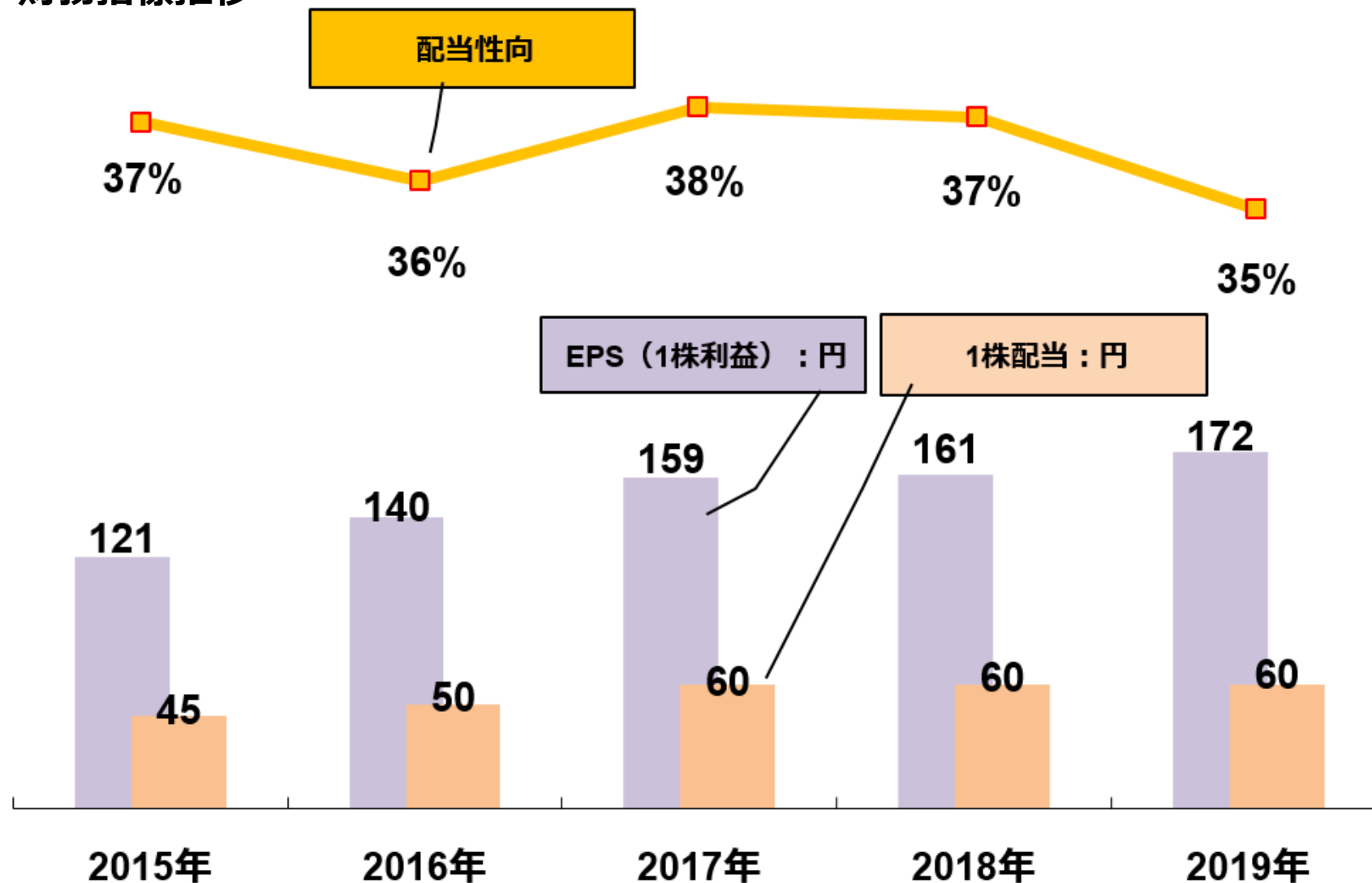
■ 財務指標推移



【参考】財務指標推移 配当性向／EPS／配当

(単位：円)

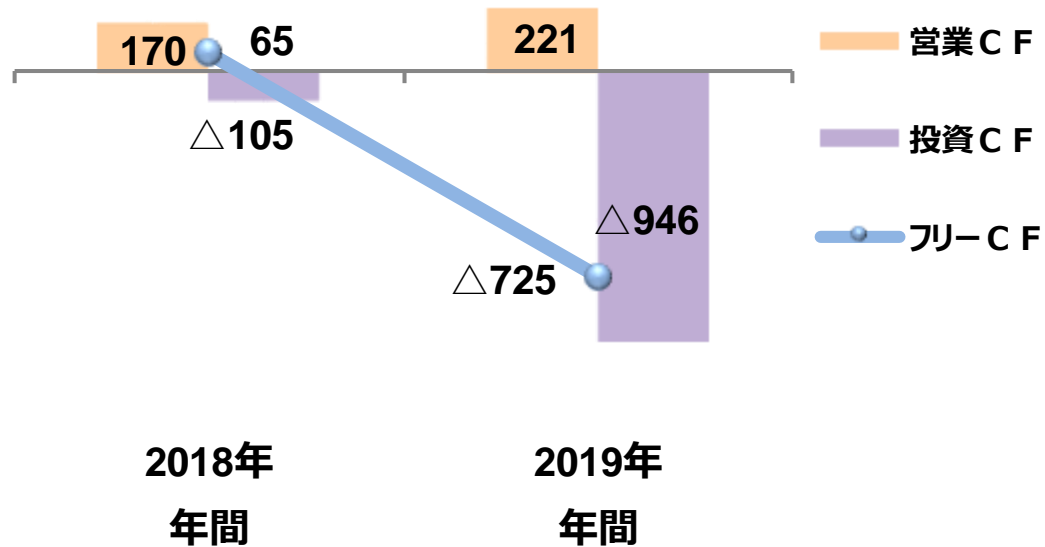
■ 財務指標推移



【参考】キャッシュ・フロー/設備投資・減価償却

(単位：億円)

■キャッシュ・フロー



■設備投資

年間

2018年	107
2019年	215
2020年	236

■減価償却

年間

2018年	133
2019年	123
2020年	130

Canon

キヤノンマーケティングジャパングループ